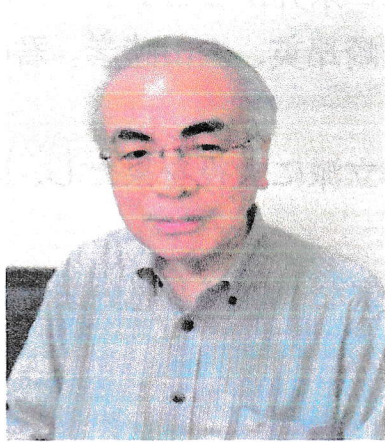


“秋の訪れ”



令和5年10月吉日

「久仁京介かこむ会」

筆頭副会長 白根幹夫

真夏日、猛暑日、熱帯夜が続いた夏も終わりました。

今年の夏は「熱中症警戒アラート」が珍しくなく、異常に暑い夏だったと思います。しかも考えれば、ここ数年は毎年同じように「今年の夏は特別暑い」というような事を言ったり、聞いたりして過ごしていたように思います。

いよいよ日に日に“秋の訪れ”を感じさせる時節を迎えました。

ようやく「コロナ禍前の日常生活」が戻ってきました。けれどもコロナウイルスの変異は続き、「完全なる終息」への道は遠いようです。

コロナは、もとより流行の兆しが見えてきた「インフルエンザ」にも細心の注意を払い、秋～冬にかけて感染者増加が案じられ油断大敵です。

秋を満喫する上でも、自分でできる予防対策を怠らず、健康寿命の維持に努めたいですね。

“「新潟市工」石碑修復保存／技術者育てた歴史後世に”

「新潟市工之跡」石碑移設除幕式及び式典が令和5年7月30日（日）に行われました。

私は住んでいる町会の20周年の記念行事が市工の式典と同日で、すでに4月に役割分担を含めて決定済みで、日程が重なり残念ながら出席できませんでした。

早速、8月2日には久仁京介さんとたっぷり話ができ、関連写真も送信されてきました。

8月5日に久仁さんより、ようやく新潟日報に掲載され、しかも卒業生の代表として出席した我々、6人の写真でしたよ。と写真が送信されてきました。